

(仮称)

宮前区の

「希望のシナリオ」 実現プロジェクト

お名前：



宮前区

“みやまえ取り組み隊” 現地ツアー③



企画：キックオフミーティング1班

2019/10/10(木) 8:45~18:00 / 交流会 18:00~19:00

目的

- ・区内のいろいろな活動や団体の現場をみんなで訪れよう！
- ・現場の良さや課題をみんなで考えよう！

マップ



主催

宮前区役所まちづくり推進部企画課 | コース担当：大木 かほ里

プログラムと訪問先の紹介

時間	内容	memo
8:45	集合：宮崎台駅改札口 徒歩すぐ	
9:00	宮前老人福祉センター 到着 (宮崎2丁目12-29) ツアーの目的や注意事項のご説明	
9:10	ひとりぐらし老人会食会 宮前老人福祉センター <ul style="list-style-type: none"> 宮崎1～6丁目と宮前平地区に住む一人暮らしの高齢者を対象とした、会食会。区内に7つある「地区社協」のひとつである宮前中央地区社会福祉協議会の事業として、偶数月の第2木曜日にセンターの4階で実施しています (登録制・要予約) 会食会の紹介と準備のお手伝い 4階 ホスト：宮前中央地区社会福祉協議会 小谷田 實さん 会食会の参加者が集まり始めます 昼食 一緒に会食会に参加しよう！ *参加費 700円 (参加者の利用料金は 300円) 	
9:10		
10:30		
11:00		
12:20	宮前老人福祉センター 出発	
	徒歩 15分程度・1.1km	
12:50	川崎市青少年の家 到着 (宮崎105-1) <ul style="list-style-type: none"> お化け灯籠の前で / みやまえ・東部62部隊を語り継ぐ会 の活動の話を聞こう <ul style="list-style-type: none"> 川崎市宮前区を中心とした戦争遺跡を語り伝える活動。赤坂の陸軍東部62部隊将校集会所の庭にあったこの灯籠は、夜、六本木あたりに出るといいうわさが。部隊とともにこの地に移転した際、足を埋めた(切った)とか。第1回川崎市地域文化財指定。 「お化け灯籠」の紹介 ホスト：みやまえ・東部62部隊を語り継ぐ会 山本 太三雄さん 山田 譲さん 7/15 みんなの聞いてみたい！ポイント <ul style="list-style-type: none"> 初めて知りました！ どんな活動をしているのか、詳しく知りたい！ 研修室で / 川崎市青少年の家 について簡単に紹介 13:30 宮前平地域包括支援センター の活動の話を聞こう <ul style="list-style-type: none"> 高齢者がいつまでも健やかに住み慣れた地域で生活していけるよう、高齢者を様々な面から総合的に支える公的な相談窓口です。 ホスト：宮前平地域包括支援センター 中尾 智子さん 	 
13:20		
13:30		

コース③ 開催レポート

コース担当
大木 かほ里



歩距離も時間も 6 コース中最長で、8 時 45 分に宮崎台駅前に集まってから、駅周辺を行ったり来たり。午前と午後で違う道を通って、このまちの多彩な景色を楽しみました。



◀この日はハンバーグ弁当！

■ 駅からすぐのところにある宮前老人福祉センターで 2 か月に 1 度開催されている「ひとりぐらし老人会食会」。会が始まる 2 時間近く前から準備が始まります。会場に机や椅子を並べ、ランチョンマットを置き、お弁当や果物、漬物などを配る作業を手伝うところから参加しました。お誕生日を祝い、プレゼントをもらって写真を撮り、ストレッチや脳トレで体を動かしたり、大きな声を出したりして盛り上がって場が和んでから、食事会が始まりました。宮前中央地区社会福祉協議会の方々が作ったアツアツの汁物に笑顔が広がりました。



宮前中央地区
社会福祉協議会
小谷田 寛さん



▲スタッフの皆様が笑顔で迎えてくれます





■川崎市青少年の家にある「おばけ灯籠」は、第1回川崎市地域文化財のひとつです。東部62部隊が赤坂から移転した際、一緒に持って来た灯籠で、青少年の家は将校集会所があった場所とのこと。夜な夜な歩き回ったという逸話の残る巨大な灯籠の前で、「**みやまえ・東部62部隊を語り継ぐ会**」の方から、この灯籠の由来や、この地に東部62部隊があったことなどを教えていただき、地域の歴史を現代に伝える活動についてもお話を伺いました。周辺の小道に今も複数残っている「陸軍軍用地境界標」にも案内していただきました。



みやまえ・東部62部隊を語り継ぐ会
山田 譲さん



みやまえ・東部62部隊を語り継ぐ会
山本 太三雄さん

■おばけ灯籠の見学で立ち寄った「川崎市青少年の家」は、ホールや研修室、音楽室やキャンプファイヤーや飯盒炊飯ができる園庭を備えており、団体での宿泊体験を通じて社会性を身に付けられるよう、宿泊設備のある社会教育施設です。施設の利用方法や、幼児からシニアまでを対象とした多彩な主催事業について、簡単な説明を受けました。



川崎市青少年の家
島崎さん





宮前平地域包括支援センター
中尾 智子さん

■ 青少年の家の研修室で、「宮前平地域包括支援センター」の方から、センターではどんな支援をしているか、丁寧に説明していただきました。福祉や高齢者への支援について、これまであまり深く考える機会がなかった人たちも、福祉を取り巻く様々な課題に目を向けるきっかけになったようで、民生委員児童委員、社会福祉協議会、区役所など、地域の福祉に関わる人たちがどのように関わっているかなど、地域福祉の現状や仕組みについて次々と質問が出されました。少し歩いて、センターにも立ち寄り、いつもの相談スペースをひと工夫して、体を動かしたりや懐かしい歌を歌ったりもするというお話を伺いました。



ツアー中に見つけました!



▲「陸軍」と刻まれた石標



▶▶▶
◀ 宮前平地域包括支援センターから次の訪問先、あぐりっこ農園に向かう途中に「陸軍軍用地境界標」を紹介していただきました



みやまえ農の応援隊
荒川 洋子さん



梅原農園
梅原 正寿さん



▲JA セレサ川崎の方々 (左・右)

■あぐりっこ農園宮前平（梅原農園）では、まず、JA セレサ川崎の方から、手ぶらで気軽に野菜作りが楽しめる初心者でも安心の指導付き体験型農園「あぐりっこ農園」の仕組みを説明。畑は1区画 15㎡に仕切られ、様々な野菜の収穫が楽しめるよう、どの区画もニンジンやネギなどが同じように植えられていました。宮前平駅から徒歩 7 分のこの地で、耕作指導を行いながら**体験型農園**を運営している梅原農園の方や、宮前区の農や緑を守り、農家を応援したいという思いで活動している「**みやまえ農の応援隊**」の方からお話を伺いました。



▲みやまえ農の応援隊の区画



◀道具一式は現場で借りられるので、手ぶらで参加できる便利なシステム

梅原農園の直売所▶では、旬の野菜が購入できる





■宮崎台駅前を通り、すきっぷドレミ園へ。子育て支援の取組と子ども食堂についてお話を伺っていると、日も暮れてきて、「みやざきだいこども食堂」に少しずつ子どもたちが集まってきました。私たちも、交流会として、こども食堂を利用する子どもや家族と一緒に、豆のカレーやカボチャのサラダなどをいただきました。一日歩いた軽い疲れも心地よく、会話も弾む楽しい時間を過ごしました。食後には、環境を意識し、食べ終わったお皿を布切れで拭いてから洗うことも教えてもらい、手慣れた子どもたちを見習って、私たちもやってみました。



すきっぷドレミ園
上田 祐子さん



この日の献立は、豆のカレーやカボチャのサラダと味噌汁でした▶



コース3のメンバー（一部）

